令和7年 4月 4日 (金)

あさひの日だまり

NO. 1

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～新入生をむかえました～

新入生の皆さんご入学おめでとうございます

本日、令和7年度の入学式をむかえました。節目のこの時に思うのは、これからの一年間が子どもたちにとって、ご家族にとって、学校の職員にとって、そして学校を支えて下さっている地域の皆様にとって「辰野東小学校は楽しいところ」となって欲しいということです。このことを実現するために校長として学校運営に精一杯取り組んでまいります。

しかしながら、学校生活の中では、子どもたちが「学校が楽しくない」と感じる時もあると思います。どうぞ、お子様の姿を見ていて心配なことがありましたら遠慮なく学校にご相談ください。子どもたちのためにご家族の皆様と精いっぱい対応を考えてまいります。

今年1年、ご家族の皆様、そして地域の皆様には本校へのご支援ご協力のほど心よりお願い申し上げます。

入学式で新入生にお話した式辞を載せました。目を通していただけたら幸いです。

式辞

辰野町副町長 山田勝己様 PTA 会長 大橋寿朗様 をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、このように令和7年度の入学式を行えることを心より感謝申し上げます。

今、真剣に校長先生のお話を聞いている新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の保護者の皆様お子様のご入学心よりお喜び申し上げます。

もしかすると、目の前にいる新入生よりも、初めてお子様を学校へ送り出す保護者の皆様の方が緊張した心持でおられるかもしれません。この先心配なことがありましたらどうぞ遠慮なさらずに学校へご相談ください。本校の職員はお子様のことを「我が子」のように考え支援してまいります。お子様の学校生活が楽しいものとなりますように、ともに手を取り合いお子さまを見守っていきたくと思います。どうぞよろしく願いいたします。

新入生の皆さん。これから「命」について三つお話しします。いいですか。

一つ目です。みなさんは一人ひとり大切な命を持っています。校長先生は、命って私たちが住んでいるこの広～い世界から一人ひとりが同じようにお借りしているものだと思っています。

二つ目です。自分の命も、お友だちの命も、お家の人の命も、学校の先生の命も、私の命もその大切さはみんなぜんぶ同じです。こっちの命の方がこっちの命より大切だということは絶対にありません。

三つ目です。命の大切さがみんな同じだということは、自分の命も、友だちの命も、お家の人の命も、学校の先生の命もみんなで大切に大切に守っていかなくてははいけません。

三つお話をしました。一つ目。命はこの広い世界からお借りしているという事。二つ目、お借りしている命の大切さはみんな同じだという事。三つ目、お借りしている命を皆で大切に守っていくという事です。

大切な命を守るために約束して欲しいことが三つあります。頑張って守って下さいね。

一つ目です。お友だちをいじめたりからかったりしては絶対にいけません。お友だちをからかうことはお友だちの命を大切にしていないことと同じです。

二つ目です。道路に急に飛び出では絶対にいけません。横断歩道では車が来ないかどうか自分の目でちゃんと見てから渡して下さい。交通事故に遭わないように自分の命を自分で大切に守って下さい。

三つ目です。お友だちや先生に大きな声で「おはようございます」「さようなら」と挨拶ができるといいですね。挨拶をしてもらおうと自分のことをとても大切にしてくれているように感じます。それはお友だちや先生の命を大切にしていることと同じだと思います。

もう一度言いますよ。一つ目お友だちを大切にすること。車に気を付けること。挨拶を頑張ること。この三つです。

三つの約束を守って学校を思いっきり楽しんで下さいね。

これで校長先生のお話は終わりです。

新入生の皆さん一生懸命に聞いてくれてありがとう。

令和七年 四月四日

辰野町立辰野東小学校長 片桐 広文

～新しい先生方をお迎えしました～

13名の新しい先生方をお迎えして学校がスタートしました。新しい先生方を迎えると学校の中に新しい風が吹いているように感じます。そして新しい発想が浮かんできます。新しい先生方の新しい感性を大切にして過去にとらわれることなく今年の学校運営を進めたいと思っています。新しくおいでになった先生方を紹介します。

名 前		担当	前 任
向山 あゆみ	むかいやまあゆみ	かがやき担任	宮田村立宮田小学校
向山 悌	むかいやまやすし	3年1組担任	日義村立日義小学校
永井 明子	ながいあきこ	音楽専科	箕輪町立箕輪西小学校
矢萩 美貴	やはぎみき	英語専科	駒ヶ根市立赤穂小学校
上嶋 桂子	かみしまけいこ	きらめき2担任	伊那市立伊那西小学校
登内 麻奈	ののうちまな	養護担当	箕輪町立箕輪北小小学校
小澤 博子	おざわひろこ	家庭科専科	辰野町立辰野西小学校
沢村 敦子	さわむらあつこ	ほっとサポート	組合立両小野小学校
村上 啓子	むらかみけいこ	ほっとサポート	新規採用
小松 清美	こまつきよみ	調理員	辰野町立辰野西小学校
西川 道子	にしかわみちこ	調理員	辰野町立辰野中学校
ロデリック パスクワ	ろでりっくぱすくわ	ALT	岡谷市内小学校
中嶋 菜穂子	なかじまなおこ	教員業務支援員	新規採用

～始業式でお話しした内容を少し掲載します～

卒業式に先立って始業式がありました。そこでお話しさせてもらったことの一部を掲載します。今年の決意を込めました。いつも私事の話で申し訳ございません。

校長先生はずっと「挑戦」についてお話をしてきました。今日はなぜ校長先生が「挑戦」を続けているかについてお話をしたいと思います。皆さんにお話しすることで自分自身も「挑戦」する気持ちを新たに強くしたいと思っています。小学校の時、校長先生はクラスで一番忘れ物が多くてしょっちゅう先生に怒られていました。校長先生は担任の先生が言っている通りに色々なことがちゃんとできない子でした。算数のかけ算の九九はクラスで一番最後までできませんでした。本当です。だから校長先生はいつも思っていました。「みんなはどうして先生の言うとおりにちゃんとできるんだろう」「どうやったら先生に怒られないようになれるんだろう」「自分は何をやってもダメな人間なんだ」ってずっと思っていました。だから、いつもクラスの仲間の様子に目を配って、目立たないようにしていようと頑張っていました。いつもビクビクしていました。こういう気持ちを劣等感と言います。劣等感を持った自分に全然自信が持てない子どもでした。だから「今」校長先生はいろいろなことに「挑戦」して「自分にもできるじゃん！」って思いたいんです。劣等感を自信に変えたいって思っているんです。そして、色々なことに「挑戦」してきて、少しずつですが校長先生の心の中に自信が生まれてきています。「自分も意外といけるかも」っていう気持ちが湧いてきているんです。そして今年、校長先生は一輪車に「挑戦」します。校長先生にとって一輪車がどんなに難しさを皆さんに話してきました。もし今年一輪車に乗れるようになったら校長先生の自信は一気にすごいことになります。「自分ってすごい！！」ってなれると思うんです。今までで一番楽しい瞬間がきっと来ます。校長先生は頑張ります。

皆さん、今年は何に挑戦しますか。楽しみです。校長先生、今こんなことに挑戦しているんだよってぜひ教えてください。楽しみにしています。ここまでで始業式に校長先生がお話ししたかった「挑戦」のお話は終わります。